

金沢の希少伝統工芸の一つ 加賀象嵌の精緻な美の世界へ。



江戸時代には主に武具・馬具に施され、特に鐘は天下の名品と称されるほど隆盛を極めた加賀象嵌。その緻密な技術と美しい意匠は現代に受け継がれています。本コンテンツでは、数々の工芸展での受賞経験を持つ気鋭の作家・前田真知子さんから加賀象嵌の魅力あふれる話を伺い、その技法の一端を体感します。希少伝統工芸・加賀象嵌の歴史と今を体感し、作り手とのふれあいを通して心に豊かなひとときをお届けします。



加賀象嵌作家

Kaga Zogan artist

前田 真知子さん

金沢市生まれ。金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科彫金コース修了。自宅工房にて制作活動を行う。生活に潤いをもたらす作品作りに励む傍ら、金沢の工芸・金工の活性化に尽力。



花瓶



ラベルピン

加賀象嵌とは

金・銀・鉄などの地金の表面を彫った溝に、他の金属をはめ込む技法で、石川県の希少伝統工芸。加賀藩前田家が京都から職人を招いて技術を発展させ、主に刀や鐘(あぶみ)に用いられました。その堅牢精緻な技は現代に継承され、香炉やアクセサリなど様々な作品が制作されています。



工程



デザイン

彫る

着色

はめる・磨く

コンテンツの流れ 作家の手ほどきを受けながら、加賀象嵌の高度な技術にふれられます。



解説

加賀象嵌が生まれた歴史をはじめ、素材や道具、制作工程を学び、知識を深めます。



象嵌体験/彫る

タガネと錘を使って、銅合金を彫りこみ、別の金属を叩き入れる作家の技を体験。



象嵌体験/削る

象嵌を施した部分にヤスリやキサギをかけて、表面を滑らかに仕上げます。



煮色着色(実演見学)

室町時代から伝わる技法を実演。象嵌を施した銅合金を薬液の中で煮て発色させます。



作品の紹介

前田さんが手がけた香炉や帯留め、アクセサリなどの作品をご紹介します。

定員

5名 最少催行人数2名

参加費(消費税込)

36,000円/グループ

お申込み

主催者まで直接お申込みください。

※日程は応相談。

行程

現地集合

金沢職人大学校

加賀象嵌の解説・体験

約1時間

現地解散